

受講料
無料

出前講義のお知らせ

OPEN LECTURE

2026
プログラム ガイドブック

皆さんの「学校」に、「まち」に、
本学の教員が出張して講義します!

CONTENTS

- P01 OPEN LECTUREとは
—pick up講義!—
- P03 看護学科
- P04 理学療法学科
- P05 作業療法学科
- P06 言語聴覚学科
- P07 検査技術学科
- P08 放射線学科
- P09 臨床工学科
- P10 教養部
- P11 お問い合わせ・お申し込み先

群馬パース大学

Gunma Paz University

OPEN LECTURE とは //

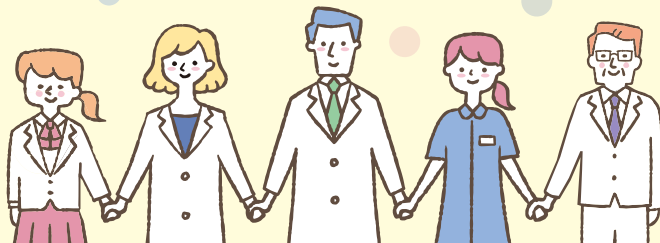
OPEN LECTURE (出前講義) とは、本学の教員が学校・企業・団体を訪問して、

受講者が興味のあることについて分かりやすく講義を行うものです。

医療に関する様々なテーマ・内容を通じて、受講者の皆さんに医療専門職や医療について

少しでも関心をもっていただくことを目的にしています。

 pick up 講義!



看



N-20 がんについて学ぼう!

がんは日本人の死因の第1位であり、2人に1人は生涯で何らかのがんに罹ると推計されています。がんとは何か、がんの予防と治療、そしてがん患者の思いを学び、がん患者とその家族を支える社会をつくるために私たちにはどんなことができるのか、一緒に考えましょう。

講師 教授 萩原 英子 【専門】成人看護学 【形式】講義、グループワーク

リ



P-13 足は口ほどにものを言う ～姿勢と動作の関連から～

人の足は、身体を支える土台となり姿勢や運動を調節する働きを持っています。この身体全体の動きや関節のしくみや運動を学ぶ「運動学」の内容から、特に姿勢と足の動きについて、実技を交えて分かりやすく概説します。スポーツで怪我をした経験のある方は、自分の身体の特徴や動きに興味を持っていると思いますので、関連付けてお話しします。

講師 准教授 浅田 春美 【専門】運動学、高齢者理学療法 【形式】講義、体験

リ



O-5 個人の幸せの追求は持続可能な社会を創る

作業療法士は、日々の生活や社会参加に支援が必要なすべての人を対象に、“こころ”と“からだ”の両面からサポートし、「作業」を通じて「自分らしい生活」を作るプロフェッショナルです。

持続可能開発目標(SDGs)は2030年までの目標として採択されたものであり、誰も取り残さないという理念です。

作業療法学は、人々が健康で幸福に生きるための支援ができるという強さを持っています。人間らしく生きる権利を守るために、個々人が望む形で生きるために環境に働きかける作業療法を解説します。

講師 教授 村田 和香 【専門】作業療法学 【形式】講義



リ



S-4 耳が2つある理由って何だろう？

なぜ耳は2つあるのでしょうか？耳が1つだけだとどうなるのでしょうか？耳が2つあることによる効果はさまざまあります。単に音を聞くだけではない耳の機能。難聴の世界を紐解きながら、耳が2つある理由、聴覚のもつ機能について考えてみたいと思います。

講師 准教授 岡野 由実 【専門】言語聴覚療法、聴覚障害、聴覚心理学 【形式】講義

医



M-2 医療シミュレーション ～ 患者の視点から見る医療専門職の役割 ～

現代の医療は、様々な医療専門職の連携によって支えられています。本講義では、病院において各医療専門職がどのような役割を果たしているのかについて、シミュレーション形式で紹介します。登場人物である患者Aさんの視点になって様々な医療専門職の業務理解を深めることで、将来の職業選択の幅を広げてもらうのがねらいです。

講師 教授 高橋 克典 【専門】病態免疫化学検査学 【形式】講義（オンライン対応可）

医



R-3 CT・MRIって？ -診療放射線技師の活躍の場-

CT、MRI、よく聞く言葉ですが、実際どのように行い、どんな画像が出て、どのように患者さんの診療に役立っているか、この分野を担う「診療放射線技師」の仕事内容・実際の画像を紹介します。

講師 准教授 茂木 俊一 【専門】CT・MRI等画像診断部門 【形式】講義

医



C-2 チーム医療と医療安全 -チーム医療における臨床工学技士の役割-

患者さんへ安心・安全で最良の医療を提供するために欠かせないチーム医療において、医療機器の操作や管理を行う臨床工学技士がどのような役割を担っているのか、事例を挙げてわかりやすく解説します。

<講義内容>1. チーム医療とは 2. 医療安全とは 3. 医療現場で活動している主なチーム
4. チーム医療に関わる職種 5. チーム医療における臨床工学技士の役割
6. チーム医療の実践と医療安全確保のために大切なこと

講師 教授 大瀨 和也 【専門】生体医工学、生体機能代行技術学 【形式】講義

講義分野

看 ▶ 看護

リ ▶ リハビリテーション

医 ▶ 医療技術

講義一覧

本学ホームページに
アクセス

OPEN LECTURE
(出前講義)専用ページ

講義テーマを見る▶



全講義の
詳細はこちら



看護学部 看護学科

看護師

保健師

助産師

看護師は病気や障害のある人の療養上の世話や、医師の診察及び治療の補助を行います。
保健師は地域の人々への保健指導や健康管理、助産師は出産の介助や妊産婦のケアなどを行います。



pick up 講義!

N-3 看護師という仕事

看護師の仕事を理解しましょう。

看護師の仕事というと「注射や採血」「血圧測定」などの直接的なケアに目がいきがちですが、その裏側には、看護師一人一人の看護に対する「思い」や「考え」があります。このことを、看護師・看護部長・看護教員の経験から説明し、看護の魅力をお伝えします。

講師

教授 萩原 一美
【専門】基礎看護学
【形式】講義

I
職業理解



N-18 無意識に「こころ」を守る仕組み

人が無意識に使っている「こころを守る仕組み」を学び、心の健康を理解しましょう。

私たちはときどき「偏見」を持つことがあります。それは自分のこころを守るために無意識に働く仕組みでもあります。この講義では、偏見を手がかりに“こころの防衛メカニズム”をわかりやすく学びます。また、死と向き合わざるを得ない人がどのように気持ちを変化させていくのか、そのプロセスも紹介します。最後に、患者さんのこころに寄り添うために看護ができることを一緒に考えていきます。

講師

教授 西川 薫
【専門】精神看護学
【形式】講義、グループワーク

II
専門分野
理解



N-33 赤ちゃんには危険がいっぱい -赤ちゃんの目線から考えよう-

新生児や乳幼児の特徴から身近にある危険について学び、命の尊さについて考えましょう。

赤ちゃん人形の抱っこや育児体験を通して、新生児や乳幼児の月齢ごとの身体の発育や発達について理解しましょう。また、赤ちゃんの目線に立って育児環境や遊びの環境に存在する「室内や遊びの中の危険」を一緒に探しましょう。そして、赤ちゃんを守る環境についてグループディスカッションを通して考えましょう。

講師

講師 吉野 めぐみ
【専門】母性看護学、助産学
【形式】講義、体験、
グループワーク

II
専門分野
理解



講義番号

I. 職業理解

II. 専門分野理解

N-1~N-13

N-14~N-35

理学療法士

理学療法士は病気やケガなどによって身体が不自由になった人に対し、その機能の回復や維持といった治療に取り組みます。また、日常生活の運動や動作の指導を行い、専門的な立場でサポートします。



pick up 講義!

P-2 理学療法士ってどんな職業?

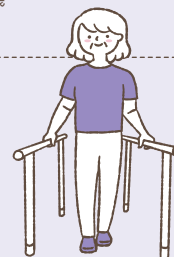
理学療法士という職業を理解しましょう。

理学療法士とはどのような仕事をしているのか、どのような職場で働いているのか、どのような人が理学療法士に向いているのか、理学療法士になるためにはどのようにすればいいのか、など理学療法士について学びます。

講師

教授 岡崎 大資
【専門】物理療法学
【形式】講義

I
職業理解



P-16 スポーツ傷害と理学療法

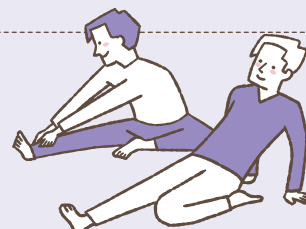
スポーツ傷害という分野から理学療法の定義を理解しましょう。

スポーツ傷害と理学療法の関わり、ストレッチング(筋肉を伸ばすことを目的とする理学療法)、モビライゼーション(関節の動きをよくすることを目的とする理学療法)、テーピング(関節の動きを制限することを目的とするテーピング療法)の実技を予定しています。

講師

講師 城下 貴司
【専門】スポーツ科学
【形式】講義、体験

II
専門分野理解



P-19 人はなぜ 乗り物酔いやVR酔いをしてしまうのか?

乗り物酔いやVR酔いの原因とその対応策を理解しましょう。

人によって乗り物酔いしやすい人、しにくい人がいます。この酔いやすさには視覚・前庭覚・体性感覚という3つの感覚が影響しています。この3つの感覚の違いによる体への影響を講義・実技を通して説明します。

講師

講師 加茂 智彦
【専門】前庭理学療法学
【形式】講義、体験

II
専門分野理解



講義番号

I. 職業理解

P-1~P-4

II. 専門分野理解

P-5~P-22

全講義の
詳細はこちら



リハビリテーション学部 作業療法学科

作業療法士

作業療法士は生活を構成する日常の「作業」がケガや病気、老化や発達の遅れなどによって上手くできなくなった人に「こころ」と「からだ」の両面からサポートする医療専門職です。



pick up 講義!

0-2 「作業」ってなんだろう?

身近な生活の中にある「作業」について考えながら、作業療法という職業の考え方や役割を理解しましょう。

私たちの生活は、学ぶこと、人と関わること、食事をすること、休むことなど、さまざまな「作業」で成り立っています。本講義では、「作業」とは何かを考えながら、作業療法士の仕事や役割について学びます。自分にとって大切な作業や、それを行うために必要な力や支援について一緒に考えてみましょう。

講師

講師 松崎 由莉

【専門】作業療法学

【形式】講義、グループワーク

I
職業理解



0-9 カラダを上手に動かすコツについて 感覚統合の視点から考えてみましょう!

作業療法の手段の1つに感覚統合理論があります。
その理論を通して自分の体のクセについて体験しながら発見してみましょう。

発達領域の作業療法で用いる感覚統合理論について学びます。遊具や触って楽しいおもちゃの体験や運動が得意な人・苦手な人のその理由について探ってみましょう。

講師

准教授 吉岡 和哉

【専門】発達領域の作業療法、特別支援教育

【形式】講義、体験

II
専門分野理解



0-10 作業療法の革新! アイデアがカタチになる3Dプリント技術

3Dプリント技術の基本的な知識、作業療法への応用をお話します。

3Dプリンターは聞いたことがあっても、実際に使ったことがある人はまだ多くありません。今は手頃な価格の機器やアプリが増え、誰でも気軽にものづくりができるようになっています。作業療法の分野でも、一人ひとりに合わせた自助具を作るなど、活用が広がっています。この講義を通して、3Dプリンターと作業療法を身近に感じてもらえればと思います。

講師

講師 近藤 健

【専門】作業療法学

【形式】講義、体験

II
専門分野理解



講義番号

I. 職業理解

0-1~0-3

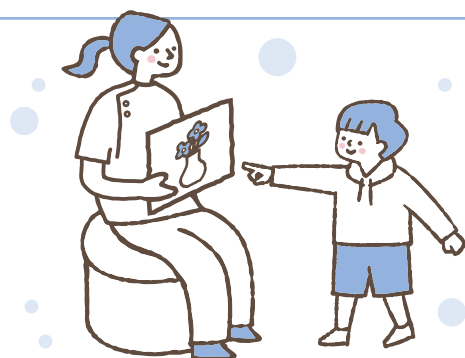
II. 専門分野理解

0-4~0-12

リハビリテーション学部 言語聴覚学科

言語聴覚士

言語聴覚士は「聞く・話す・読む・書く」といったコミュニケーション機能や、「食べる」活動に課題を抱える人に対し、機能の修得や回復をサポートする医療専門職です。



pick up 講義!

S-2 言語聴覚士ってどんな仕事?

聞く、話す、食べることに障がいのある方を支援する言語聴覚士の業務について解説します。

コミュニケーションや食べることの困難さはどのような原因で起こり、日常生活にどのような不便を引き起こすのでしょうか。また、それを支援する言語聴覚士はどのような役割を担うのでしょうか。当学科が理想とする言語聴覚士は、狭い意味でのリハビリだけでなく、対象となる患者様や利用者様の生活や人生と一緒に考え、「共生の社会」を目指すプロフェSSIONALです。



講師

教授 石山 寿子 ほか
【専門】言語聴覚療法
【形式】講義、体験

I
職業理解

S-9 ことばとコミュニケーションから考える認知症

認知症によるコミュニケーションの変化を理解し、接し方や日常生活でできる予防を学びます。

認知症では物忘れだけでなく、会話やコミュニケーションの様子にも変化が現れます。本講義では認知症によるコミュニケーションの変化をわかりやすく解説し、認知症の方との接し方や会話の工夫を紹介します。また、会話や社会的交流が脳の健康に与える影響にも触れ、日常生活でできる認知症予防のヒントをお伝えします。家族や地域で支えるための知識として、若い世代にも役立つ内容です。



講師

講師 鈴木 倫
【専門】高次脳機能障害学
【形式】講義

II
専門分野
理解

S-11 なぜ人はむせるの? -飲み込むしくみと誤嚥のふしぎ-

食べ物や飲み物を飲み込むしくみを知り、むせる理由や誤嚥の危険性について理解します。

普段何気なく行っている「飲み込む」という動作。実は、口・舌・喉・食道など多くの器官が連携する、とても複雑な運動です。では、なぜ時々むせてしまうのでしょうか?本講義では、飲み込む仕組みを分かりやすく解説しながら、誤嚥が起こる理由やその予防について考えます。簡単な体験を通して、飲み込みの不思議と一緒に学びましょう。



講師

講師 酒井 哲郎
【専門】摂食嚥下障害学、
発声発語障害学
【形式】講義、体験

II
専門分野
理解

講義番号

I. 職業理解

S-1~S-3

II. 専門分野理解

S-4~S-11

全講義の
詳細はこちら



臨床検査技師

臨床検査技師は「検査」で患者さんを助ける医療専門職。患者さんから採取した血液・尿の分析、心電図や超音波検査などから得られる生体情報の解析を行い、検査データを診断に役立てます。



pick up 講義!

M-4 臨床検査技師の資格を使って何ができるの?

臨床検査技師の資格取得により広がる活躍の場について学びましょう。

臨床検査技師の活躍の場は、今や病院だけでなく検査センターや保健所、検査関連企業、治験コーディネーター、胚培養士など多岐にわたります。本講義では、病院における臨床検査技師の業務だけでなく、その他の分野で活躍する臨床検査技師の業務内容について実例をまじえながら紹介します。

講師

教授 高橋 克典

【専門】病態免疫化学検査学
【形式】講義（オンライン対応可）

I
職業理解



M-5 生殖補助医療に携わる仕事とは?

不妊治療に代表される体外受精等の技術と、関連する仕事について学びましょう。

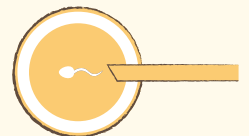
少しの不具合で受精が上手くいかず、不妊になることも少なくありません。これらを治療する分野を生殖補助医療といいます。本講義では、体外受精についての基礎的な知識と、生殖補助医療にかかわる職種についてわかりやすく解説します。

講師

准教授 荒木 泰行

【専門】生殖補助医療技術学
【形式】講義（オンライン対応可）

I
職業理解



M-19 デジタル病理とAI -医療を支える未来の専門職-

AIやデジタル技術を活用して診断を支える新しい医療の仕事について知ろう。

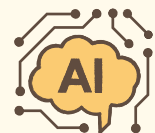
顕微鏡で見ていた像をデジタル化し、AIを使ってがん細胞の候補を見つける技術が広がっています。診断を行うのは医師ですが、その精度を高めるために、画像解析やデータ管理を担う臨床検査技師が活躍しています。医療と情報技術をつなぐ、これからの時代に広がる仕事です。

講師

准教授 柳田 絵美衣

【専門】病理学、病理検査学、細胞診断学
【形式】講義（オンライン対応可）

II
専門分野理解



講義番号

I. 職業理解

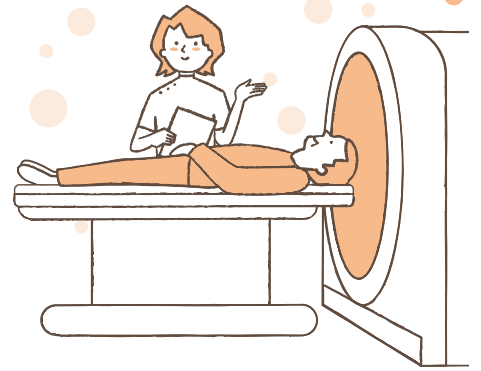
M-1~M-8

II. 専門分野理解

M-9~M-23

診療放射線技師

診療放射線技師は病気の発見や原因を確認するために放射線を利用して、体外からは見えない臓器や器官を撮影したり、放射線を人体に照射して治療を行ったりする医療専門職です。



pick up 講義!

R-4 診療放射線技師への道と業務内容

診療放射線技師に興味があるけど、どうしたらなれるの?どんな仕事なの?を解決しましょう。

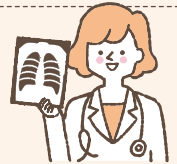
診療放射線技師は病院職員のなかでも、コメディカルに分類され、病気の発見や診断・治療に不可欠な職種の一つです。放射線は毒にも薬にもなるため十分理解して医療人の一端を担う道筋をご案内します。

講師

准教授 渡邊 城大

【専門】X線・救急撮影技術学
【形式】講義

I
職業理解



R-5 がん治療の中の放射線

がん治療における放射線の役割を理解し、がんについて学びましょう。

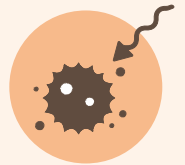
2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで命を落とすといわれています。がん治療の基本は手術、抗がん剤、放射線が主に用いられています。このがん治療3本柱の一つである放射線治療について解説し、そこで働いている職業についても紹介します。

講師

講師 星野 洋満

【専門】医用画像情報学
【形式】講義

I
職業理解



R-7 放射性物質を使った検査って大丈夫なの?

病院で行っている放射線検査の一つである放射性物質を使った核医学検査の有用性や安全性を学びましょう。

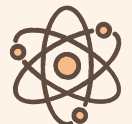
放射性物質は福島原発事故などによって人体に悪影響を及ぼすものと理解している方も多いと思います。しかし、放射性物質は使い方によっては認知症の早期発見やがんの治療に役立っていることを紹介します。この講義を経て有害とされる物質の安全と非安全の違いに対する考え方について学んでいただきます。また、診療放射線技師の仕事も学ぶことができます。

講師

教授 渡邊 浩

【専門】核医学、放射線防護
【形式】講義

II
専門分野理解



講義番号

I. 職業理解

R-1~R-6

II. 専門分野理解

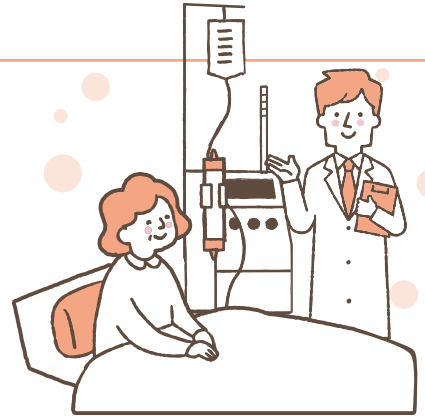
R-7~R-10

全講義の
詳細はこちら



臨床工学技士

臨床工学技士は患者さんの生命に直接関わる生命維持管理装置を医師の指示のもとに操作して治療に参加します。医療機器を介して患者さんの命のサポートをする医療機器のスペシャリストです。



pick up 講義!

C-3 “命のエンジニア”生命維持管理装置を操り治療ができる臨床工学技士とは

医師に次ぐ資格である臨床工学技士が病院でどんな仕事をしているのか学びましょう。

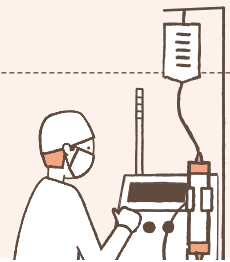
今、注目を集めている臨床工学技士の業務について、病院で何ができるのか、どんな役割があるのか具体的に解説します。また、臨床工学技士の未来展望と世界を見据えた臨床工学技士についても解説します。

講師

准教授 齋藤 慎

【専門】生体機能代行技術学
【形式】講義

I
職業理解



C-8 感染症の基礎知識と予防法 (インフルエンザやノロウイルス感染症など)

感染症の知識・技術などを理解しましょう。

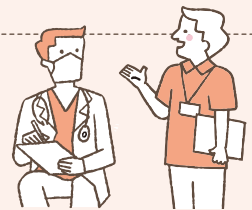
私たちの生活と隣り合わせにある「感染症」。ニュースでよく耳にするけれど、「実はよく分かっていない」「今の対策で十分なのか不安」という方も多いのではないのでしょうか？
本講義ではインフルエンザやノロウイルス感染症など、感染症の基礎知識と予防法について詳しく学びます。

講師

教授 木村 博一

【専門】微生物学、感染症学、
生体防御学
【形式】講義

II
専門分野理解



C-7 三次元培養技術とその応用

本講義では、三次元培養技術の歴史を紐解き、臨床工学分野での応用可能性を考察しましょう。

近年、オルガノイドやスフェロイドといった立体的に細胞を培養する技術に注目が集まっています。本講義では、三次元培養技術の歴史を紐解き、人工臓器などへの応用など臨床工学分野における発展について未来志向で考察します。

講師

教授 花田 三四郎

【専門】血管生物学、
生物化学工学
【形式】講義

II
専門分野理解



講義番号

I. 職業理解

II. 専門分野理解

C-1~C-6

C-7~C-12

教養部

群馬パース大学教養部は、幅広い教養と医療の専門分野にとらわれない共通の意識を身につけ、医療人としてのコミュニケーション能力や人間とかわる力を目的とした教養教育の充実を目指しています。



pick up 講義!

K-2 メディアで学ぶ医療専門職

メディアで描かれる医療専門職から、いろいろな医療専門職を理解しましょう。

近年、医療専門職を主人公としたメディア(小説、マンガ、映画、テレビドラマなど)がたくさん公開されています。これらのメディアに描かれるエピソードは、医療専門職が実際に経験する業務に沿った物語として描かれ、医療専門職の実際の状況(感情や感動、やり甲斐など)を把握するのに最適です。メディアを通して描かれる医療専門職を知り、それぞれの医療専門職の専門性とチーム医療連携について学びましょう。



I
職業理解

講師

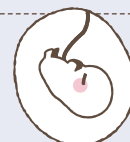
教授 星野 修平

【専門】 データサイエンス
【形式】 講義

K-5 人間である胎児と中絶問題

胎児が人間であるとみなす場合においても、中絶は許されるのかについて考えます。

胎児を人間とみなすことができるのかについて考えると、医学的、哲学的に統一的な見解が見つからない可能性があります。ここでは、胎児を意識機能をもつ私たちと同じ人間であるとみなす場合においても、中絶が許される議論を思考実験を踏まえて紹介したいと思います。



II
専門分野理解

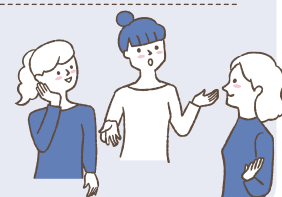
講師

准教授 峯村 優一

【専門】 倫理学、哲学
【形式】 講義、グループワーク

K-7 多文化主義と多様性—「見えない壁」に気づき、共に生きる社会へ—
社会のルールに潜む見えない壁に気づき、多文化主義の視点から多様性と共生のあり方を学ぶこと。

「多様性を大切に」という言葉をよく耳にしますが、単に「違いを認める」だけでは本当の共生とはいえません。私たちの社会には、多数派の基準で作られた「見えないハードル」が存在します。本講義では、「多文化主義」の歩みをヒントに、身近な違いや社会の構造的な壁について見つめ直します。誰もが自分らしく生きられる社会を作るため、困っている人の隣に立つ「アライ(Ally:同盟者、味方)」になる第一歩を考えましょう。



II
専門分野理解

講師

准教授 徳永 慎也

【専門】 アメリカ文学、アメリカ研究
【形式】 講義、グループワーク

講義番号

I. 職業理解

K-1~K-2

II. 専門分野理解

K-3~K-9

全講義の
詳細はこちら



お申し込みの流れ

STEP
1



本学ホームページに
アクセス

OPEN LECTURE
(出前講義)
専用ページ

お申し込み
フォーム▶



STEP
2



本学の担当者から、
ご要望など確認の連絡をいたします。



STEP
3

学内にて調整を行い、講師・テーマなど決定しましたら、
正式な回答をさせていただきます。



STEP
4



講義実施



お気軽に
お申し込みください!



お問い合わせ・お申し込み先

群馬パース大学 入試広報課

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町1-7-1

TEL 027-365-3370

FAX 027-365-3367

URL www.paz.ac.jp

E-mail nyushi-koho@paz.ac.jp